サワラン

Eleorchis japonica (A. Gray) F. Maekawa

ランン科

	絶滅危惧Ⅰ類
国カテゴリー	該当なし

選定理由 もともと、やや稀産の植物であったが、湿地が失われたことにより、現在は極端に減少している。本調査では報告が皆無であった。（現況：R－）

形　　態 サワラン属は日本固有属で、しかも本種1種のみが含まれる。球形で緑色の偽球茎を持ち、花茎は高さ20～30cm。花茎には基部に少数の鞘状葉があり、線状披針形の葉を1枚着ける。花は横向きに着き、1個稀に2個で紅紫色、長さ2～2.5cm。

国内分布 北海道、本州（近畿以北）さらに南千島に分布。

県内分布 外浦区、加賀中央区、南加賀区。

生態など 地生の多年生草本。開花期は7月ごろ。

生育環境 平地や丘陵地の湿地にミズゴケとともに生育。

危険要因 現地調査では確認されていないが、湿地開発が主要なものであろう。

白井伸和・2001 年 7 月 20 日・白山

分布図はありません。